

時代とハートを動かす

SEIKO

2015年3月期 年次報告書

2014年4月1日～2015年3月31日

Report



55th
ANNIVERSARY
Grand Seiko

グランドセイコー

左:レディス・メカニカルモデル STGR001 右:メカニカルハイビート36000 GMT SBGJ013

セイコーホールディングス株式会社

当期のふりかえり

2014.05.14

グループスローガン「時代とハートを動かすセイコー」を制定

「常に時代の一步先に行く」創業者の志を大切にしつつ、お客さまの心と深く響きあえる関係をつくりあげたいという思いを込めました。

時代とハートを動かす SEIKO

2014.07.01

システムソリューション事業の拡大をめざした事業会社の再編

グループ第三の支柱事業をめざし、セイコーソリューションズ(株)がセイコーインスツル(株)のシステムアプリケーション事業を統合しました。



2014.09.01

セイコーサービスセンター(株) 創立50周年

ウォッチ類の修理サービスと純正部品の販売を行うセイコーサービスセンター(株)が創立50周年を迎えました。



2014.11.10

セイコーインスツル(株)小杉修弘が「現代の名工」に選定

“実用時計の最高峰”グランドセイコーに長年携わり、工業製品の意匠を手がけるプロダクトデザイナーとして初めて受賞しました。



2015.02.27

セイコーNPC(株) 創立40周年

水晶発振器用ICを中心とした半導体の開発・製造・販売を行うセイコーNPC(株)が創立40周年を迎えました。



2014.04 05 06 07 08 09 10 11 12 2015.01 02 03

2014.07.24

「セイコー国産腕時計3点」が機械遺産に認定

日本が誇る精密機械技術の発展過程を知るための象徴的な遺産として、(社)日本機械学会から認定を受けました。



ローレル 初代グランドセイコー クオーツアストロン35SQ

2014.08.19

ニューヨークにセイコーブティックをオープン

アメリカ国内で初の直営店を、世界の一流時計ブランドが集まる高級ショッピング街であるマディソンアベニューにオープンしました。



2014.09.19

セイコー アストロン第二世代(8Xシリーズ) 世界同時発売

約30%(ウォッチヘッド部)の小型化に加え、クロノグラフ搭載と操作性向上を実現。全世界で好調な販売が続いています。



2014.11.04

グランドセイコー メカニカルハイビート36000GMT限定モデルが2014年度ジュネーブ時計グランプリ「プティット・エグ्यूーユ」部門賞受賞

世界の時計業界で最も権威ある同グランプリで、メイドインジャパンのメカニカルウォッチとして初めて部門賞を受賞しました。





代表取締役会長 兼 グループ CEO
服部 真二

代表取締役社長
中村 吉伸

第5次中期経営計画最終年度を迎えて

Q 2015年3月期の経営成績についてお聞かせください。

持株会社へ移行した2001年度以降で最高の経常利益を達成

(服部) 当期の連結業績は、売上高2,934億円、営業利益116億円、経常利益は持株会社へ移行した2001年度以降の最高益である123億円を達成しました。また、固定資産や有価証券の売却により、当期純利益も持株会社化以降最高の217億円となりました。

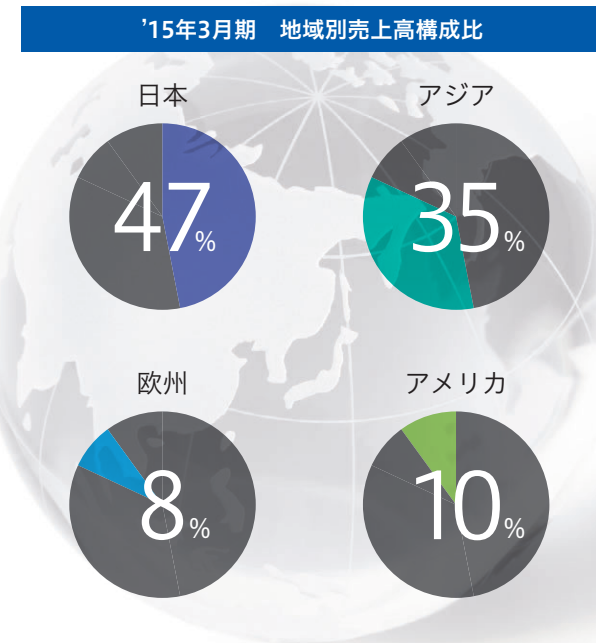
ウォッチ事業は、国内においては消費税増税の影響を懸念していましたが、訪日旅行者の急増と円安の後押しもあり好調に推移しました。海外ではセイコーティックをニューヨークに開設し、グランドセイコーがジュネーブ時計グランプリの部門賞を受賞するなど、グローバルブランドとして戦っていくための素地ができた一年でした。中期経営計画の目標値を前倒しで達成しておりますが、それに満

足することなく、さらなる増収増益をめざして、ブランド力の向上とグローバル展開をさらに進めてまいります。

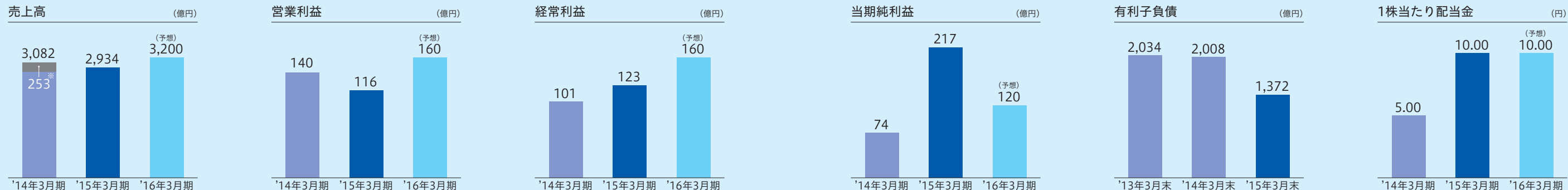
(中村) 電子デバイス事業は、車載向けやスマートフォン向けの半導体が売上を伸ばしました。また、インクジェットプリントヘッドや小型サーマルプリンタも売上を拡大しました。一方、課題であるメカトロ分野では、ハードディスクコンポーネントは回復基調にありますが、カメラ用シャッターはカメラ市場の低迷の影響により回復が遅れています。

システムソリューション事業では、データサービス事業が堅調に推移した他、体組成計の売り上げが増加したものの、昨年度を下回る売上高となりました。

クロック事業は円安でコスト増となる逆風の中、事業構造改革による収益性の改善とヒット商品により、黒字化を達成しました。和光では、特に2月の旧正月時期を中心に訪日旅行者需要が拡大し、通期で期待どりの利益を確保することができました。



決算ハイライト



※ '14年3月期は眼鏡事業を連結に含む

Q 中期経営計画最終年度となる2016年3月期を迎えるにあたり、「事業収益の最大化」の実現に向けた施策をお聞かせください。

米国を最重要課題とし、海外でのブランドカアップを図る

(服部) ウォッチ事業では、海外でのブランドカアップ、特に米国が最重要課題です。米国ではニューヨーク・セイコーブティックに代表されるように、高級イメージを育成して復興させている途上です。グローバル3ブランド(グランドセイコー・アストロン・プロスペックス)を中心とした広告宣伝の継続投資に加え、高級流通をしっかりと開拓してまいります。また、日本・東アジア・中国を一つの商圈と捉える戦略を継続するとともに、2020年東京五輪に向けて増加が予測される訪日旅行客の需要を確実に取り込みます。

(中村) 電子デバイス事業は、抜本的な事業構造改革を進めた結果、収益の出る企業体質へと変貌しつつあります。この度、売上・利益の中核である半導体事業のさらなる成長の実現に向け、(株)日本政策投資銀行と共同出

資による新会社設立に向けた基本合意書を締結いたしました。事業成長のための外部資金、必要な知見の活用により、新たな成長ステージに進んでいくことをめざしています。一方、課題であるメカトロ分野の収益改善もさらに進めてまいります。

システムソリューション事業においては、2014年7月1日付でグループ内の関係事業体をセイコーソリューションズ(株)に集約し、組織の形は出来上がりました。今年度は、さらに具体的な統合効果を発揮できるように取り組んでまいります。

(服部) (株)日経BPコンサルティングのブランドイメージ調査「ブランドジャパン2015」において、ビジネスパーソン500人が選ぶブランド総合ランキングで、セイコーは昨年度の63位から大きく飛躍し26位となりました。株主の皆さまをはじめ、お客さまに育てていただいたこのブランド力をそれぞれの会社が存分に活用し、ビジネス拡大につなげてまいります。

Q 「経営基盤の質的強化」についてはいかがでしょうか。

企業の持続的発展に向け、人財育成と女性活躍推進に取り組む

(中村) 収益の改善に加え、保有資産の有効活用や売却を通じて有利子負債の削減に積極的に取り組んだことにより、2015年3月末現在で有利子負債は1,372億円、自己資本比率は27.1%まで改善しました。しかしながら、グループの財務体質はまだまだ脆弱といえます。引き続き財務体質の改善に取り組みます。

人財活用の促進においては、グループ横断の取り組みとして、グローバル人財育成のための海外派遣プログラムや、幹部候補生の育成に向けたビジネススクール派遣プログラムを開始しました。また、女性活躍推進においては、経営層で構成する委員会や、各社管理職と女性社員によるプロジェクトが連動しながら、各種講演会・研修等の開催、グループ内向け専用サイトからの情報発信等をはじめ、社内啓発や意識改革、モチベーション向上を目的とした様々な活動に取り組んでいます。これらの人事施策は目に見える成果が短期

間で現れるものではありませんが、企業の持続的発展に必要な不可欠であるとの信念のもと、今後も継続してまいります。経営基盤の質的強化には、持株会社の役割を強化していかなくてはなりません。グループ内の重要案件に関わる意思決定を主導するとともに、事業会社へのサポート機能の強化をめざし、グループを俯瞰した全体最適の立場から業務を進めてまいります。

(服部) そして、昨年制定したグループスローガン「時代とハートを動かすセイコー」を基軸に、スポーツと音楽を柱としたブランディング活動を今年度も継続してまいります。

スポーツにおいては、5月にセイコーゴールデングラプリ陸上2015川崎を特別協賛しオフィシャルタイマーを務めました。この8月にはIAAF世界陸上北京大会でオフィシャルタイマーを務める予定です。

音楽では、4月18日(土)から「Seiko presents Sound Inn "S"」がレギュラー番組として放送開始になりました。この一社提供番組の復活を起爆剤として、音楽を通じたブランディングを定着させていきたいと考えています。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



第5次中期経営計画

**基本戦略1
事業収益の最大化**

1. グループの基盤事業であるウォッチ事業の強化・拡大
2. 電子デバイス事業はコアビジネスへの集中
3. 第3の柱としてシステムソリューション事業を育成
4. セイコーブランドを有効活用したビジネス展開の拡大

**基本戦略2
経営基盤の質的強化**

1. 財務体質の改善
2. 持株会社の役割強化
3. 人財活用の促進

第5次中期経営計画進捗状況

(億円)

	2013年度 実績	2013年度 中期計画	2014年度 実績	2014年度 中期計画	計画比	2015年度 中期計画
売上高	3,082	3,000	2,934	2,900	+34	3,200
営業利益	140	100	116	140	△23	200
経常利益	101	60	123	100	+23	160
当期純利益	74	50	217	80	+137	120



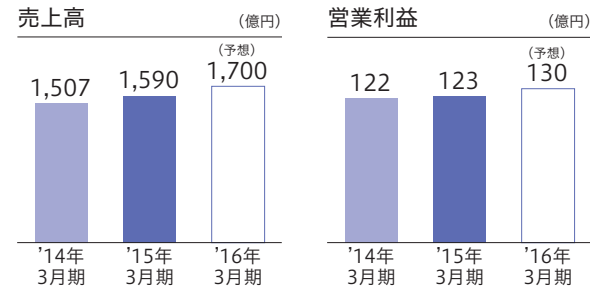
セグメント別情報

ウォッチ事業

おもな製品 ウォッチ、ウォッチムーブメント



売上高 **1,590** 億円 前期比 5.5%増
 営業利益 **123** 億円 前期比 0.7%増



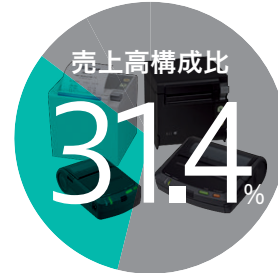
GPSソーラーウォッチ
セイコーアストロン



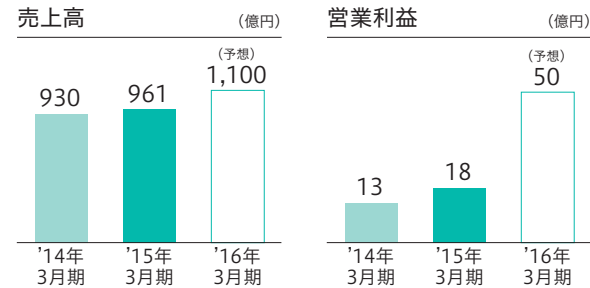
セイコー ルキア

電子デバイス事業

おもな製品 半導体、水晶振動子、電池・材料、プリント、ハードディスクコンポーネント、カメラ用シャッター



売上高 **961** 億円 前期比 3.3%増
 営業利益 **18** 億円 前期比 38.0%増



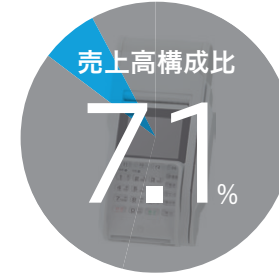
車載用IC



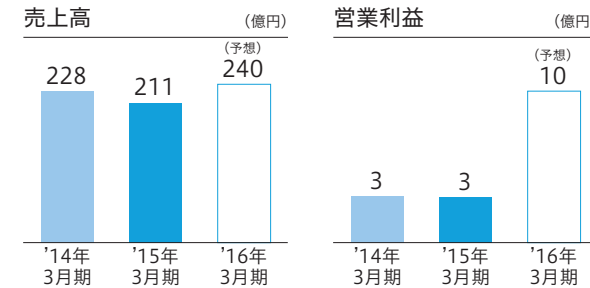
小型サーマルプリンタ

システムソリューション事業

おもな製品 無線通信機器、データサービス、情報ネットワークシステム



売上高 **211** 億円 前期比 7.5%減
 営業利益 **3** 億円 前期比 6.3%減



データセンターサービス
決済サービスCREPICO
無線決済端末



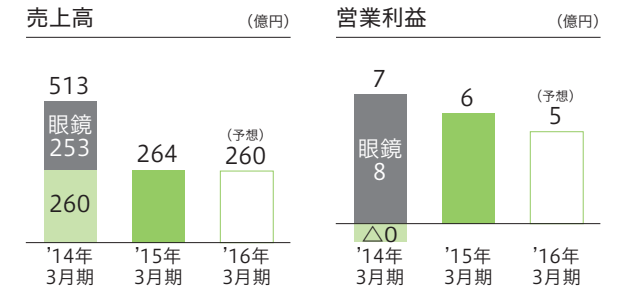
スマート体組成計

その他

おもな製品 クロック、高級宝飾・服飾・雑貨品、設備時計他



売上高 **264** 億円 前期比 1.8%増
 営業利益 **6** 億円 前期は △0億円の営業損失



セイコー エムプレム 衛星電波クロック



和光本館

単位：億円未満切り捨て

主な経営成績 (億円)	2010年3月期 (第149期)	2011年3月期 (第150期)	2012年3月期 (第151期)	2013年3月期 (第152期)	2014年3月期 (第153期)	2015年3月期 (第154期)
売上高	2,307	3,138	2,969	2,837	3,082	2,934
営業利益	19	116	67	55	140	116
経常利益	△ 19	65	12	32	101	123
当期純利益	△ 36	21	△ 110	55	74	217
純資産	425	462	319	408	647	925
総資産	4,059	4,004	3,861	3,553	3,667	3,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	156	204	111	214	155	165
投資活動によるキャッシュ・フロー	113	△ 86	△ 112	△ 20	△ 109	462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 141	△ 143	3	△ 292	△ 35	△ 668

1株当たりデータ (円)

純資産	204.80	203.97	131.65	188.76	304.24	437.52
当期純利益	△ 25.23	12.43	△ 60.25	29.41	35.92	105.39
配当金	0	2.00	0	2.50	5.00	10.00

主な指標 (%)

自己資本比率	8.7	9.3	6.2	11.0	17.1	27.1
ROA(総資産経常利益率)	△ 0.6	1.6	0.3	0.9	2.8	3.5
ROE(自己資本当期純利益率)	△ 11.4	6.0	△ 36.0	17.5	14.6	28.4
PER(株価収益率)	△ 9.8	22.9	△ 3.3	14.3	11.4	5.8
配当性向	—	16.1	—	8.5	13.9	9.5

会社情報

会社概要

社名	セイコーホールディングス株式会社
創業	1881年(明治14年)
資本金	100億円
従業員数	117名(単体) 13,565名(連結)
本店所在地	〒104-8129 東京都中央区銀座四丁目5番11号
本社所在地	〒105-8505 東京都港区虎ノ門二丁目8番10号 虎ノ門15森ビル 電話：03-6739-3111(代表)
WEBサイト	http://www.seiko.co.jp

役員 (2015年6月26日現在)

代表取締役会長 兼 グループCEO	服部 真二
代表取締役社長	中村 吉伸
常務取締役	内藤 昭男
取締役	梅本 宏彦
取締役	高橋 修司
取締役	大熊 右泰
取締役	村上 斉
取締役	石井 俊太郎
取締役	藤井 美英
取締役	土居 聡
取締役	原田 明夫*1
取締役	カーステン・フィッシャー*1
常勤監査役	鈴木 政利
常勤監査役	三上 誠一
監査役	森田 富治郎*2
監査役	山内 悦嗣*2
監査役	青木 芳郎*2

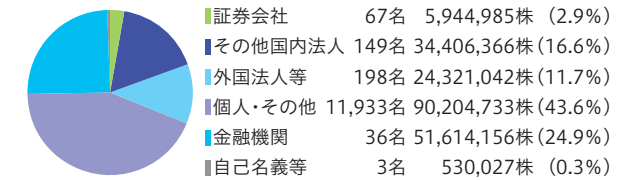
*1 社外取締役
*2 社外監査役

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数	746,000,000株
発行済株式の総数	207,021,309株
株主数	12,386名

株式所有者別の状況



※自己名義等は、自己名義株式(272,168株)および当社関係会社が所有する株式です。

配当情報

中間配当	1株当たり2.50円
当期末配当	1株当たり7.50円

株主メモ

証券コード	8050
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
決算基準日	3月31日
配当支払株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人および特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵送物送付先 お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-288-324(フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

「"わ"で奏でる東日本応援コンサート2015 in 東京」を特別協賛

東日本大震災から4年を迎えた3月11日、日比谷公会堂にて「"わ"で奏でる東日本応援コンサート2015 in 東京」を特別協賛しました。

「"わ"で奏でる東日本応援コンサート」は、グループCEOの服部が実行委員長を務め、作編曲家・ジャズピアニストの前田憲男氏を中心に、ゲストシンガーを迎えて東北3県と東京で、2013年9月から計12回開催してきました。

今回は、2015本の"わ"のハチマキを用意し、被災地の皆さんの思い、その隣には支援者のメッセージを書き込んでいただき、ステージや銀座・和光のウィンドウディスプレイに飾りました。



成田国際空港第2旅客ターミナルに世界時計を新設

4月24日、成田国際空港第2旅客ターミナル本館からサテライトに向かう連絡通路(出国手続き後エリア)入口付近に世界時計を新設しました。

日本人旅行者のみならず、さらなる増加が見込まれる訪日旅行者に対して、世界主要都市の時刻をわかりやすく伝えます。

中央の世界地図に映し出された光のスクリーンは、通常時は世界の昼夜を表現しています。そして毎正時・30分になると、春夏秋冬やお正月、桃の節句など、日本ならではの彩り豊かな季節を、色鮮やかに表現します。

成田国際空港第2旅客ターミナルからご出国される際は、ぜひご覧ください。

